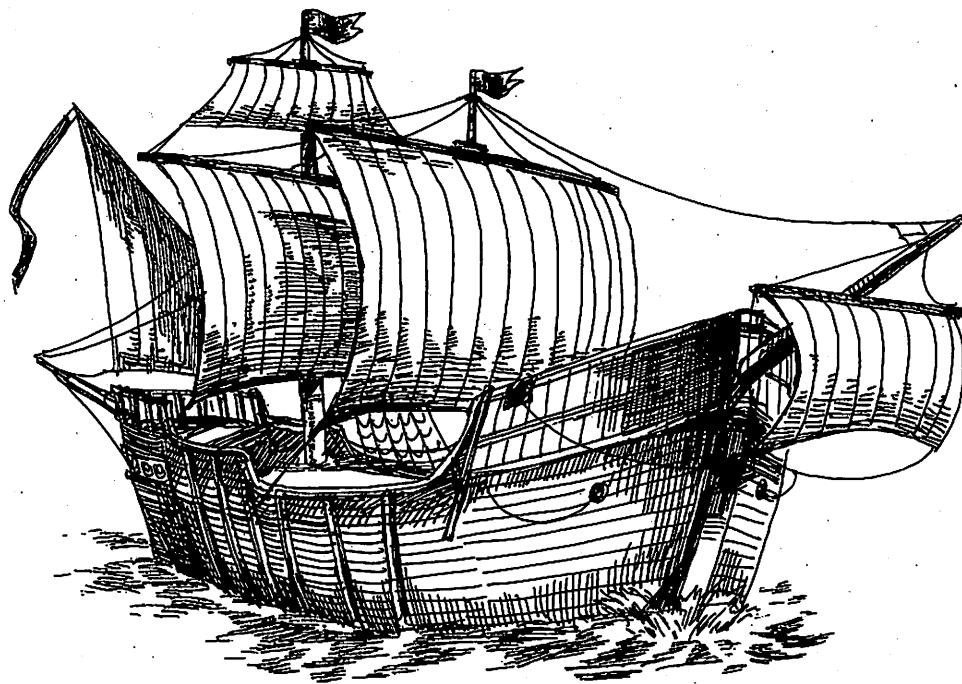


令和元年度

# 羅針盤

～進路の手引～



福島県立磐城高等学校

3年 組 番 氏名

# I 大学入試の制度と 2020年度大学入試情報

# 1 2020年度国公立大学入試について

## (1) 2020年度大学入試スケジュール

2018.9月現在

		国公立大学	中期日程(公立大学のみ)	短期大学
2019年		分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)	短期大学
7月	7月31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表		
9月	9月上旬	大学入試センター試験 受験案内配付		
	~10月上旬	大学入試センター試験 検定料等払込		
10月	~10月上旬	大学入試センター試験 出願		
11月				AO入試
12月	15日まで	募集要項発表		推薦入試
2020年				
1月	1月18・19日	大学入試センター試験(本試験)		
	18・19日	大学入試センター試験 正解等の発表		
	22日(予定)	大学入試センター試験 平均点等の中間発表		
	~24日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表		
	24日(予定)	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表		
	25・26日	大学入試センター試験(追試験・再試験)		
	27日~2月5日	2次(個別)試験 出願		
2月	2月6日(予定)	大学入試センター試験 平均点等の最終発表		出願
	~12日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表		
	~12日	第1段階選抜の結果発表(前期)		
	~19日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続		
	25日~	前期日程試験	~20日 第1段階選抜の結果発表	
		~28日 第1段階選抜の結果発表(後期)		
3月	3月1日~10日 (国立は6日~)	合格発表	8日~ 中期日程試験	一般入試(2月)
	12日~	後期日程試験		
	~15日	入学手続	20日~23日 合格発表	
	20日~24日	合格発表	~27日 入学手続	
	~27日	入学手続		
	28日~	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験		
	~31日	入学手続(第2次締切)		合格発表・入学手続
4月	4月16日(予定)	大学入試センター試験 成績の本人開示		一般入試(3月)

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

## (2) 2020年度大学入試センター試験の概要

### 平成32年度大学入試センター試験出題教科・科目の出題方法等

教 科	ク ル プ	出 題 科 目	出 題 方 法 等	科 目 選 択 の 方 法 等	試 験 時 間(配 点)
国 語		『国 語』	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題する。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地 理 A」「地 理 B」	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公 民		「現代社会」「倫 理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
数 学	①	『数学 I』 『数学 I・数学 A』	『数学I・数学A』は、「数学I」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	『数学 II』 『数学II・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『数学II・数学B』は、「数学II」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕  『簿記・会計』は、「簿記」及び「財務会計I」を総合した出題範囲とし、「財務会計I」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理 科	①	『物理基礎』 『化学基礎』 『生物基礎』 『地学基礎』		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理 科 ①】 2科目選択 60分(100点)
	②	『物 理』 『化 学』 『生 物』 『地 学』	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目  なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理 科 ②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
外 国 語		『英 語』 『ド イ ツ 語』 『フ ラ ン ス 語』 『中 国 語』 『韓 国 語』	『英語』は、「コミュニケーション英語I」に加えて「コミュニケーション英語II」及び「英語表現I」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆 記】 80分(200点) 【リスニング】 〔『英語』のみ〕 60分(うち解答時間30分) (50点)

- 備考 1 『』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目とする。
- 2 「平成32年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」の別紙様式の「記入上の注意5」にいう『国語』の特定の分野は、「出題方法等」欄中の「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とする。
- 3 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいう。
- 4 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
- 5 理科①については、1科目のみの受験は認めない。
- 6 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答する。
- 7 リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

### (3) 個別学力検査（2次試験）について

#### ① 出願について

各国公立大学は7月末までに入学試験の選抜方法を決定し、「選抜要項」を発表する。これにより、入学者選抜方針（アドミッションポリシー）・入学定員・入試科目・出願資格・出願期間・試験日・合格発表日に加えてAO入試・推薦入試・2段階選抜・2次募集の有無などが明らかになる。また、配点を公表する大学もある。

各大学はさらに11月中旬から12月15日までに「学生募集要項」（出願書類が入っている）を公表し、請求に応じて配付を開始する。志望する大学および受験する可能性のある大学のものを早めに取り寄せておく必要がある。

個別学力検査（2次試験）の出願は1月28日から2月6日までに行う。出願は大学入試センター試験受験後なので自己採点結果をもとに出願大学を決定することができる。

国公立大入試の個別学力検査（2次試験）は、原則として前期日程試験と後期日程試験の2回に分けて試験が実施される。（これを「分離分割方式」という。）ただし、公立大の一部には、前期日程と後期日程のあいだに中期日程を設けて試験を行うところもある。したがって、前期日程試験、後期日程試験、公立大中期日程試験の3種類の試験日程の組合せ方によって、次のような4種類の併願パターンが可能になる。

① 前期+後期

② 前期+公立大中期

③ 前期+公立大中期+後期

④ 公立大中期+後期

公立大中期日程の募集人員はごくわずかである。

ただし、①～③の併願のパターンで前期日程試験に合格し、入学手続をした者は、後期日程、公立大中期日程を受験しても合格者にはならない。したがって国公立大学の第1志望は前期日程試験の大学・学部に設定するのが基本中の基本と言える。

#### ●中期日程の大学（2019年度）

大学	学科	学年
釧路公立	経済	全学科
秋田公立美術※	美術	美術
高崎経済※	経済	経済
長岡造形※	造形	全学科
金沢美術工芸	美術工芸	全学科
長野	全	
長野県立※	全	
都留文科	文 教養	全学科
岐阜薬科	薬	全学科
静岡県立	薬	
名古屋市立	薬	全学科
大阪府立	工	全学類
兵庫県立	理	全学科
奈良県立※	地域創造	地域創造
岡山県立※	情報工	全学科
新見公立大学	健康科学	地域福祉
山陽小野田市立山口東京理科※	工 薬	全学科
下関市立※	経済	全学科

※を付した大学は前期日程と中期日程で試験を実施。

また、前期日程、中期日程、後期日程以外に、少数だが、独自日程を課す大学がある。独自日程は、前期、中期、後期いずれの日程とも併願可能であり、また、単独で受験することも可能である。また、複数回に渡り試験を実施し、複数回受験が可能である。

#### ●独自日程の大学（2019年度）

大学名	学部	学年
国際教養	国際教養	
新潟県立	国際地域	
新潟県立	人間生活	
公立小松	全	

#### ② 後期試験の廃止について

国公立大学の入試は基本的に募集人員を前期日程と後期日程で分けて選抜を行う、分離分割方式に統一されるが、続々と後期日程を廃止する大学が出てきている。国立大学協会の指針では、AO・推薦入試を導入するなど、多様な入試を実施すれば、後期日程の廃止も可能となっている。

つまり、一般入試で国公立大学合格を考える場合、前期日程が勝負の場となる。そのため、センター試験でしっかりと高得点を取ることがこれまで以上必要となる。

#### ③ 2段階選抜について

大学・学部によっては、個別学力検査（2次試験）の会場収容数や採点の都合を理由に2段階選抜を実施することを予告する。志願者が予告倍率を超えていたり、倍率を緩和したりする大学があるので実際に実施する大学・学部は少なくなる。最難関大学やセンター試験科目を少なく課す大学、募集人員が少ない後期日程試験などに志願者が集中し、倍率が高くなる傾向があるので注意が必要である。

2段階選抜を実施する大学では第1段階選抜の結果を、前期日程については2月13日までに、中期日程については2月20日までに、後期日程については2月28日までに発表することになっている。

#### ④ 個別学力検査（2次試験）の受験について

各大学の個別学力検査（2次試験）は前期日程が2月25日以降に、後期日程が3月12日以降に実施される。同じ日程であっても大学・学部によって2日以上にわたって試験が行われたり、試験日がずれたりするので注意が必要である。

このほか、一部の公立大学が採用する中期日程は3月8日以降に個別学力検査（2次試験）が行われる。

試験は普通1～2日間であるが、芸術系など実技を課す大学・学部などでは3日以上におよぶ場合もある。

#### ⑤ 全国入試の導入について

「少しでも多くの優秀な学生を集めたい」という理由で、私立大学ではすでに多くの大学が全国入試を実施しているが、全国各地で入学試験を行う大学は地方の国公立大学を中心に登場している。今後さらに全国入試を実施する国公立大学は増加すると見込まれる。

#### ⑥ 合格者発表について

個別学力検査（2次試験）が終わると、大学は採点を行い、あらかじめ大学入試センターから連絡を受けている各受験生のセンター試験の得点結果を照合して合否判定資料を作成する。ほとんどの大学・学部はセンター試験と個別学力検査の総合点で合格者を発表するが、評定平均値を点数化して加える大学もある。なかには定員の一部についてセンター試験あるいは個別

学力検査（2次試験）の特定科目の高得点者を優先的に合格させるなどユニークな選抜方法を実施したり、センター試験を2段階の第1段階選抜にしたりしか利用しない大学・学部もある。

各大学・学部の合格者発表は、前期日程が3月6日から3月10日まで、後期日程が3月20日から3月24日までに行われる。ただし、中期日程の合格者発表は3月20日から3月23日までとなっている。

前期日程は入学手続き締切りが3月15日と他の日程より早く、合格者が手続きをすると後期日程の大学に受験していてもそちらの合格者からは自動的にはずされる。後期日程と公立大学中期日程の入学手続きは3月27日に締め切られる。

## ⑦ 地歴2科目必須の大学について

東京大学では、文科の個別学力検査（第2次学力試験）で地歴を2科目課す。本校のカリキュラムでは、地歴の2科目は一応の対応はなされるが、合格のためには十分な自主学習が要求されるので、早い段階で地歴担当の教員に相談し、対策を講じることが望ましい。

## ⑧ 理科3科目必須の大学の絶無について

2018年度入試まではいくつかの医学部の医学科では理科3科目を課していたが、2019年度入試から、理科3科目を課す大学はなくなった。その理由の1つは、2012年度入試より、センター試験で理科を受験できるのが2科目になったことだ。それまでは、理科をセンター試験で3科目受けて、個別試験（二次試験）で理科2科目という大学がほとんどであった。センター試験で理科3科目が受けられなくなったので、理科3科目をやめたというのが理由の1つである。そして、もう1つの理由が、理科3科目を課したことで、皮肉なことに優秀な学生を確保できなかつたことである。高校で習うのは理科2科目までで、理科3科目の大学を受験するには、理科1科目は自分で勉強しなければならない。よほどその大学にこだわりが無い限りは、自主的に勉強しようとは思わないだろう。ただでさえ、他の科目が間に合っていないのに、新たに、自分で理科を勉強しようと思える人は非常に少なかったようだ。結果、優秀な学生の確保のために考案された理科3科目の入試制度は、逆に合格者のレベルを下げる結果となつた大学も出てきた。大学によっては、一年で理科3科目の入試制度を廃止した大学もある。

自分の目指す大学において入試科目等に変更がないか、必ず調べておこう。

## ⑨ 医学部の定員について

2004年4月から医学生は医師免許取得後、指定病院において初期の臨床研修が義務づけられた。研修できる病院は指定病院ならば全国どこでもよいこととなったので、臨床研修医は必ずしも自分の大学の付属病院や地域の病院を選ばなくなり、都市部の指定病院での研修を行うようになった。このことにより、地方の大学の医学部は地域に派遣していた医師の大学付属病院への引き上げをはじめた。また、卒業生も大都市の病院勤務の傾向が進み、その地域の医療機関に残る医師が減少なつてゐる。こうした結果、2000年代中頃に、地域偏在と診療科偏在による医師不足が顕在化、国の政策は一転して抑制から養成数増員へと切り替わつた。これにより近年、医学科の入学定員は毎年増員を続けている。そこで大学側は、地元出身の医学生なら、卒業後もその地域の医療機関に残る可能性が高くなることを見込み、地元出身者また在学者のための募集枠である「地域枠」を導入し始めている。

## ⑩ 国公立後期入試について

後期日程は受験生の欠席率が高くなる。前期日程で合格した人が合格した時点で合格手続きをすると、後期日程の受験はできないということから、後期日程の実質倍率は大幅に減少する。最後まで諦めずに挑戦すればチャンスは大いにあるということが言える。最後の最後まで粘って合格を勝ち取るという強い気持ちで受験に挑もう。

## (4) 2020年度入試 国公立大学入試変更点（抜粋） 磐城高校版

※一般入試の変更点を中心に記載しています。なお、二部、夜間部、フレックス制は除いています。

※今後変更になる可能性もあるため、詳細は必ず各大学公表の「入学者選抜要項」「学生募集要項」などで確認してください。

※理科の「理基2」は1科目としています。※配点変更については、変更教科のみ記載しています。

※個別試験の理科は、特記事項がない限り、各科目とも「基礎科目+専門科目」を表すものとします。

※右記の変更是掲載していません。＊外の選択の変更(英以外の科目) ＊「簿記・会計」「情報関係基礎」のみの変更

※英語外部試験利用入試については、英語外部試験の利用方法および対象試験のみを記載しています。(対象試験のスコア変更を除く)

【2019/2/18版】

大学	学部	学科／専攻(方式)	日程	項目	変更点	2020年度入試	2019年度入試
北海道大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	90人	97人
北海道教育大・岩見沢校	教育	芸術／スポーツ文化	前期	募集人員	募集人員変更	20人	18人
			個別	金科目的配点変更	西<200>、実<600>	西<300>、実<500>	
弘前大	理工	物質創成化学	前期	個別	理の化が必須から選択に、選択に物、数or理、実理:物or化or生	数or理 ※理:化	
		数物科学	前期	募集人員	募集人員変更	(数学)20人	(数学)23人
			後期	募集人員	募集人員変更	(理科)11人	(理科)8人
	医		前期	募集人員	募集人員変更	40人	50人
		医(地域枠)	前期	募集人員	募集人員変更	5人	15人
岩手大				出願方法	インターネット出願に変更	インターネット出願	紙の願書による出願
	農	食料生産環境／農村地域・食生活	前期・後期	募集人員	募集人員変更	<前>29人、<後>6人	<前>27人、<後>7人
東北大	経済		前期・後期	選抜方法	理系入試新規実施	(文系):<前>155人、<後>30人	<前>185人、<後>30人
				募集人員	募集人員変更	(理系):<前>10人、<後>10人	
茨城大	教育	学校／理科	前期	募集人員	募集人員変更	17人	15人
		学校／保健体育	前期・後期	提出書類	運動特技に関する調査追加	運動特技に関する調査(点数化)	—
筑波大	理工	物理	前期	募集人員	募集人員変更	45人	43人
			特別	選抜方法	アドミッションセンター入試廃止	—	2人
	医		前期	募集人員	募集人員変更	49人	58人
			後期	募集人員	募集人員変更	44人 ※地域枠の募集人員は未定	36人
筑波技術大	産業技術	産業情報	前期	選抜方法	専攻別募集から学科別募集へ	産業情報:<A>9人、<B>9人	産業情報／情報科学:10人、システム工:8人
		総合デザイン	前期	個別	実→総合問題	面+総合問題	面+実
宇都宮大	共同教育		改組	群馬大と合同で共同教育学部を設置	共同教育(教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術表現・生活・健康系) ※宇都宮大のキャンパスで学修し、一部宇都宮大の単位も履修する	教育(学校教育／教育系、文系、理系、実系)	
	地域デザイン科学	建築都市デザイン	前期・後期	センター	理→理2 理の選択に文、生、地学追加	国+国公+文2+理2+外 ※理:物(or化 or 地)	国+國公+政2+理+外 ※理:物
			後期	個別	個別試験廃止	—	実
		社会基盤デザイン	後期	個別	個別試験廃止	—	論
群馬大	共同教育		改組	宇都宮大と合同で共同教育学部を設置	共同教育 (人文社会系／国語、社会、英語 自然科学系／数学、理科、技術 芸術表現・生活・健康系／音楽、美術、家政、 保健体育 教育人間科学系／教育、教育心理、 特別支援教育) ※群馬大のキャンパスで学修し、一部宇都宮大の単位も履修する	教育(学校／国語、社会、英語、数学、理科、技術、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児)	
埼玉大	経済	経済(国際プログラム)	前期	選抜方法	英語外部試験の対象試験にGTEC(4技能)、GTEC CBT、IELTS、TOEFL iBT、TOEIC	対象試験:IELTS、TOEFL iBT、TOEIC	
千葉大	文	人文／日本・ユーラシア文化	前期	選抜方法	英語外部試験の対象試験にGTEC(4技能)追加	対象試験:ケンブリッジ英検、英検、GTEC(4技能) GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT TOEFL iBT、TOEIC LR&SW	対象試験:ケンブリッジ英検、英検、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT TOEFL iBT、TOEIC LR&SW
			選抜方法	英語外部試験のスコア変更	対象試験:ケンブリッジ英検 153点以上、 英検 2,160点以上	対象試験:ケンブリッジ英検 160点以上、 英検 単1級以上	
			後期	選抜方法	後期自習廃止	—	3人
			AO	選抜方法	AO入試新規実施	3人	—
			特別	選抜方法	AO入試、推薦入試をAO入試に統合	AO入試	AO入試、推薦入試
		小中／音楽	前期	募集人員	募集人員変更	10人 ※入学手続き時の希望調査と入学試験の成績を勘案してA・B選択のグループ分けを決定する	(A選択):8人、(B選択):3人
			AO	募集人員	募集人員変更	5人	(AO)2人、(B)2人
		小中／園芸工作・英語	前期	募集人員	募集人員変更	12人 ※入学手続き時の希望調査と入学試験の成績を勘案してA・B選択のグループ分けを決定する	(A選択):8人、(B選択):3人
			AO	募集人員	募集人員変更	3人	(AO)2人、(B)2人
		小中／家庭科	前期	募集人員	募集人員変更	12人 ※入学手続き時の希望調査と入学試験の成績を勘案してA・B選択のグループ分けを決定する	(A選択):8人、(B選択):3人
			AO	募集人員	募集人員変更	3人	(AO)2人、(B)2人
		学校／英語	前期	選抜方法	英語外部試験の利用方法追加、対象試験にGTEC(4技能)追加	利用方法:みなし満点、得点加算(複数基準) 対象試験:ケンブリッジ英検、英検、GTEC(4技能)、 GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT TOEFL iBT、TOEIC LR&SW	利用方法:得点加算(複数基準) 対象試験:ケンブリッジ英検、英検、GTEC CBT、 IELTS、TEAP、TEAP CBT TOEFL iBT、TOEIC LR&SW
			選抜方法	英語外部試験のスコア変更	対象試験:ケンブリッジ英検 140点以上、 英検 1,950点以上、 GTEC CBT 900点以上、 IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、 TEAP CBT 420点以上、 TOEFL iBT 42点以上、 TOEIC LR&SW 1,150点以上	対象試験:ケンブリッジ英検 PCB(160点)以上、 英検 単1級以上、 GTEC CBT 1,120点以上、 IELTS 5.0以上、TEAP 280点以上、 TEAP CBT 540点以上、 TOEFL iBT 62点以上、 TOEIC LR&SW 1,420点以上	
			選抜方法	選択別募集から分野別募集へ	30人 ※入学手続き時の希望調査と入学試験の成績を勘案してA・B選択のグループ分けを決定する	(A選択):18人、(B選択):12人	



大学	学部	学科／専攻(方式)	日程	項目	変更点	2020年度入試	2019年度入試
奈良教育大	教育	学校／文化選択	前期	募集人員	募集人員変更	4人	5人
奈良女子大	生活環境	食物栄養	前期	センター	履修2科目利用型新規実施	履修2科目利用型:国・國公2+数2+外×(理or理基2) 履修2科目利用型:国・國公+数2+理2+外	国・國公+数2+理2+外
島根大	医	医	後期	選抜方法	後期日程廃止	—	20人
島根大	総合理工	物質化学	前期・後期	センター	理の選択に地学追加	国+國公+数2+理2+外 ※理:化×(物or生)地学	国+國公+数2+理2+外 ※理:化×(物or生)
広島大	医	医	後期	選抜方法	後期日程廃止	—	5人
	特別	募集人員	国際バカロレア入試募集人員変更	6人		若干名	
山口大	農	生物資源環境科学	前期	個別	數+理⇒數+理	數+理	數+理
		生物医療科学	前期	センター	理の化が選択から必須へ	国+國公+数2+理2+外 ※理:化×(物or生)地学	国+國公+数2+理2+外 ※理:化×(物or生)地学
			個別		數+理⇒數+理	數+理	數+理
徳島大	田	田	前期・後期	募集人員	募集人員変更	<前>24人、<後>6人	<前>20人、<後>10人
香川大	教育	学校／小学校	前期	募集人員	募集人員変更	55人	60人
		学校／中学校	前期	募集人員	募集人員変更	(A)14人、(B)10人、(C)4人	(A)13人、(B)7人、(C)5人
高知大		土佐さきがけプログラム／グリーンサイエンス	前期	募集停止	募集停止	—	5人 ※募集人員は理(化学生命理工)に含まれる
九州大	医	医	前期	個別	面追加	數+理2+外+面	數+理2+外
	田	田	前期	個別	面追加	數+理2+外+面	數+理2+外
福岡教育大	教育	特別支援／中等(教育)	前期・後期	募集人員	募集人員変更	<前>14人、<後>6人	<前>10人、<後>5人
長崎大	多文化社会		前期・後期	選抜方法	英語外部試験の対象試験からGTEC for STUDENTS、IBGTEC for STUDENTS(S)除外	対象試験: 英検、GTEC(4技能)、GTEC(3技能)、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR、TOEIC LR&SW	対象試験: 英検、GTEC(4技能)、GTEC(3技能)、GTEC CBT、IBGTEC for STUDENTS、IBGTEC for STUDENTS(S)、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR、TOEIC LR&SW
				選抜方法	英語外部試験のスコア変更	対象試験: GTEC CBT 1,100点以上	対象試験: GTEC CBT 1,040点以上
	田	田	後期	選抜方法	2段階選抜新規実施	約2倍	—
			個別		段階問題→論	論+面	面+総合問題
鹿児島大			前期・後期	選抜方法	英語外部試験基準変更	英語外部試験で一定スコア基準を満たし、かつ、センター試験の外國語(英語)で筆記160点以上、リスニング40点以上の得点をそれぞれ持った場合のみを添点とする。なお、筆記が160点未満、リスニングが40点未満の場合、それぞれの得点の25%の点数を加算する	英語外部試験で一定スコア基準を満たす場合のみを添点とする
				選抜方法	英語外部試験の対象試験からTOEFL Junior Comprehensive除外	対象試験: ケンブリッジ英検、英検、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR&SW	対象試験: ケンブリッジ英検、英検、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR&SW、TOEFL Junior Comprehensive
	教育	学校／中等技術	前期	募集人員	募集人員変更	5人	4人
理	生命化学	前期	個別	(數+理)→2⇒數+理	數+理+外 ※理: 物or生 or化 or地学	外×(數+理)→2 ※理: 物or生、化or地学	
医	保健／看護	後期	選抜方法	後期日程廃止	—	5人	
国際教養大	国際教養		独自	選抜方法	英語外部試験併用	英語と英語外部試験の併用	みなし添点
			A日程	募集人員	募集人員変更	55人	40人
				センター	國、公、數、理が選択から必須へ	國+國公+數2+外×(理or理基2)	國+國公+數2or理or理基2
				個別	外の記述変更	外<100>	外<200>
			B日程	募集人員	募集人員変更	40人	50人
				センター	國、國公、數、理が必須から選択へ	外×(國+國公+數or理or理基2)→2	國+國公+數+外×(理or理基2)
				個別	外の記述変更	外<100>	外<200>
			C日程	募集人員	募集人員変更	5人	15人
福島県立医科大	医	医	後期	選抜方法	後期日程廃止	—	23人
	保健科学	理学療法、作業療法、診療放射線科学、臨床検査		新設	学部新設	理学療法: 定員40人、作業療法: 定員40人、診療放射線科学: 定員25人、臨床検査: 定員40人※すべて仮称	—
東京駿馬大(首都大学東京)				名称変更	大学名称変更	東京駿馬大※2020年4月変更予定	首都大学東京
	人文社会	人文	前期・後期	募集人員	募集人員変更	<前>51人、<後>10人	<前>81人、<後>12人
			推薦	募集人員	指定校推薦入試募集人員変更	12人	24人
新潟県立大	国際経済	国際経済、地域経済創生		新設	学部新設	国際経済(国際経済／国際経済) 地域経済創生: 定員90人※すべて仮称	—
富山県立大	工	電気電子工、情報システム工		改組	学部改組	電気電子工: 定員45人、情報システム工: 定員45人※すべて仮称	電子・情報工: <前>52人、<後>10人
都留文科大	文	英文	前期・中期	募集人員	募集人員変更	<前>15人、<中>30人	<前>20人、<中>40人
			前期	センター	選択パターンに5教科型追加	3教科型: 外×(國+國公+數or理or理基2)→2 5教科型: 國+國公+數+外×(理or理基2)	3教科型: 外×(國+國公+數or理or理基2)→2
			中期	センター	3教科型の国が必須から選択へ 選択パターンに5教科型追加	3教科型: 外×(國+國公+數or理or理基2)→2 5教科型: 國+國公+數+外×(理or理基2)	3教科型: 国+外×(國+國公+數or理or理基2)
				個別	外の記述変更	外<200>	外<300>
長野大	環境ツーリズム、企業情報		前期	センター	國、外があながちから選択へ	(國+國公+數or理or理基2)→4 ※4科目中上位2科目をそれぞれ2倍し200点満点とする。残り2科目をそれぞれ100点満点とする	國<200>+外<200>+(國+國公+數or理or理基2)→2×各100>
名古屋市立大	人文社会	現代社会	前期・後期	募集人員	募集人員変更	<前>49人、<後>8人	<前>50人、<後>12人
			推薦	募集人員	推薦入試A募集人員変更	10人	5人
福知山公立大	情報	情報		新設	学部新設	情報(情報): 定員100人※すべて仮称	—
大阪市立大	医	医(大阪府指定医療機関)	前期	募集停止	募集停止	—	5人
兵庫県立大	環境人間	環境人間／企環境栄養	前期	センター	理科の選択に理基追加、選択から地学除外	國+數2+外×(國+國公+理基2)→2 ※理: 物or化 or 生 ※理: 物基or化基 or 生基	国+數2+理+外×(國+國公) ※理: 物or化 or 生
			看護	看護	必須から論除外、面を点数化	面<100>	論<100>+面
神戸市外国语大	外国语		AO	選抜方法	AO入試新規実施	募集人員: 名字若干名 ※募集人員は前期・後期に含む	—
奈良県立医科大学	医	看護(一般枠)	前期	募集人員	募集人員変更	40人	35人
高知工科大	環境理工	(センターのみ)	後期	選抜方法	後期(センターのみ)区分を廃止	—	5人
静岡県立農林環境専門大	生産環境經營	生産環境經營		開学	新規開学	生産環境經營(生産環境經營): 定員24人 ※すべて仮称	—

## 2 2020年度 私立大学入試について

### (1) 募集要項・出願書類の入手

ほとんどの大学は7月頃までに入試科目や日程などの概要を発表する。また、11月頃までに各大学が入学者募集要項を発表し、配付する。この募集要項には、募集定員や入試科目、配点、入試日程など受験に必要なことすべてが記載され、また、出願書類も同封されている。

募集要項を入手するには、大学の窓口に取りに行くか郵送してもらうが、主要大学や地方大学の要項は書店などでも販売される。インターネットを利用して取り寄せることもできる。受験予定大学の要項は早めに取り寄せること。

### (2) 出願と入試（1月～2月）

多くの大学は1月から願書の受け付けを始める。ただし、大学によっては12月のところもある。また、推薦入試や特待生入試の場合は1～2か月早く受け付け、試験も早く行われるので注意すること。

出願は、願書に必要事項を記入し、調査書や写真、受験料などを添えて大学に提出する。提出は郵送に限るという大学が多く、受験料も指定の銀行口座に振り込み、その受領書と願書と一緒に送る方法が多くなっている。また、近年ではインターネットを通しての出願を受け付ける大学もある。詳しくは募集要項等をよく確認し、担任や家族と話し合いの場を持ち、十分に検討してから出願すること。

入試は1月下旬から始まり、2月上旬から2月中旬がピークであるが、複線入試や3月入試の増加などで3月中旬まで入試シーズンが伸びている。

### (3) 合格発表と入学手続き

合格発表は入試から1～2週間後に行われるのが一般的である。大学校内に合格者の受験番号を掲示し、合格者に合格通知と入学手続きのための書類を郵送するほか、インターネットのホームページで合格発表をする大学もかなりある。

入学手続きは、必要書類の提出と入学金・授業料など学費の納入からなっている。学費の納入方法としては ①一括納入方式 ②返還方式 ③2段階方式 の3種類がある。もし入学を辞退した場合、納めた学費は①では返還されず、②では一部を除いて返還される。③は学費を2回に分けて納めるので、あの納入日期日前に入学辞退すれば出費は少なくてすむわけである。受験校決定の際には、これらの納入方式や期日も調べておくこと。（詳しくは、各大学の要項で確認すること。）

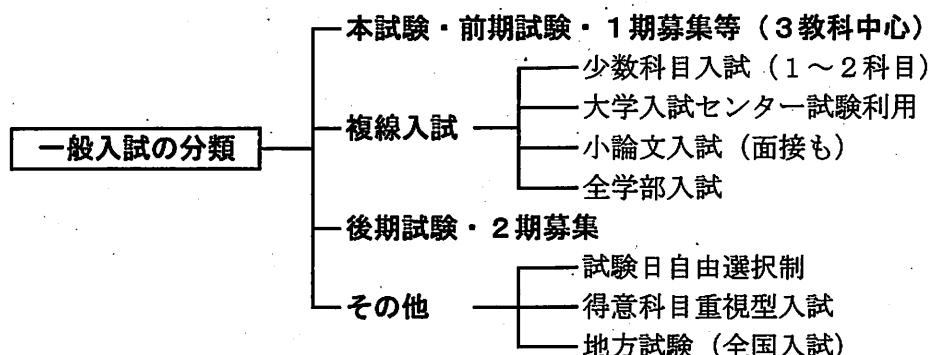
### (4) 配点と合格最低点

私立大学の配点は国公立大学に比べて小さく、300点前後が大半である。なかには早稲田大学のように130点～230点のように3教科ながら国公立大学の1教科配点を下回るところもある。従って、私大入試では同程度の点数に多数の受験生が群がり、1点の差が合否に大きく影響する。私大入試では受験する3教科とも得意教科にしておくことが大事である。

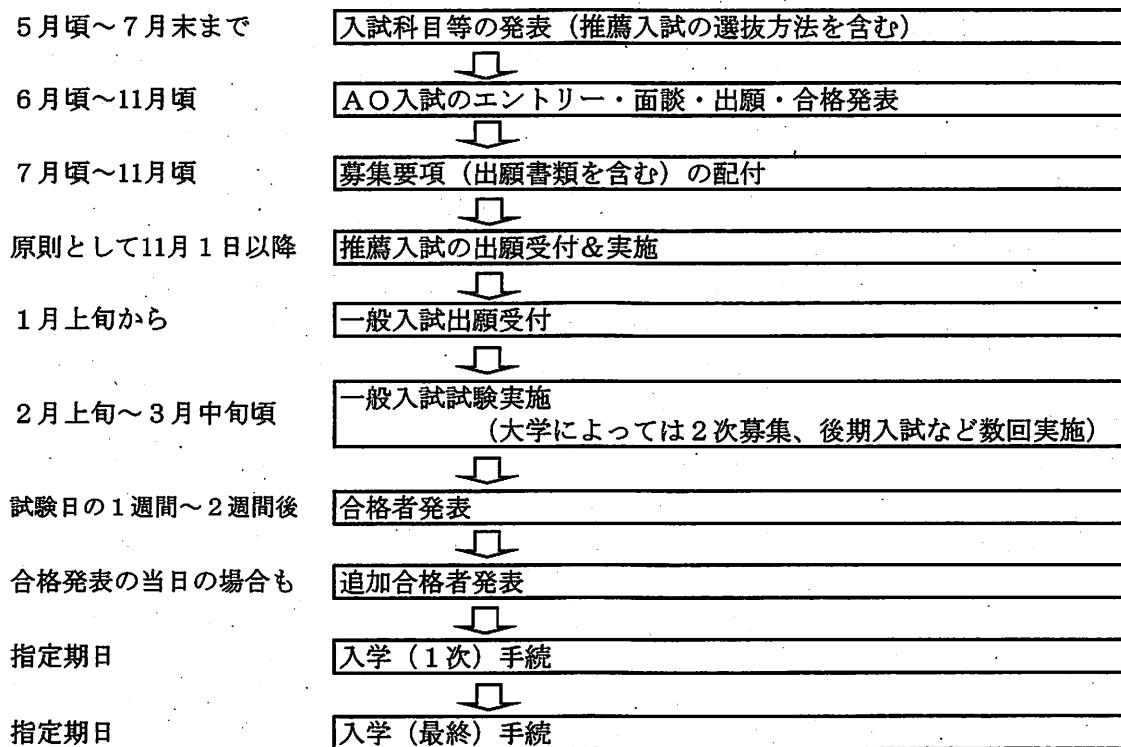
私立大学の多くが公表する合格最低点は、問題のレベルや受験動向の影響から大学や年度によって異なるが、合格最低点の得点率は60%から65%程度の大学・学部が多いようである。なかには偏差値や平均点を基に修正した点数を発表する大学もあるので注意が必要であるが、受験校が決まつたら志望大学の過去の入試問題とそのときの合格最低点を確認すること。

## (5) 一般入試の多様化－複線入試など

私立大学の一般入試は、年々多様化してきている。その方法などから、およそ次のように分類される。複線入試など多くなってきているので、早めに募集要項で確認し、対策を立てる必要がある。



## (6) 私立大学入試の主なスケジュール



## (7) 捲欠合格

私立大学では入学辞退者が多いため定員以上の合格者を発表するが、予想以上に入学辞退者が出了した場合は捲欠合格によって定員割れを防ぐところがほとんどである。捲欠合格に対する大学の対応は次の4種類である。

- ① 捲欠合格は一切出さない。
- ② 正規合格者の入学手続きをみながらいったん不合格にした者のなかの成績上位者から欠員分だけ個人宛に合格を通知する。
- ③ 正規合格者と同時に捲欠合格者を発表し、欠員が出た場合、そのなかから成績順に入学を許可する。
- ④ 正規合格者と同時に捲欠合格者を発表し、全員に対して入学を許可する。

このうち、③の場合は捲欠合格者となっても入学できるとは限らない。そしてどの程度まで合格になるかも年度によって異なるので予測が難しい。

私立大入試は”1点がモノをいう入試”なので1点でも多く得点する学力と精神的な強さを身につけ、正規合格圏内を目指すことが大事である。

## (8) 2018年以降の私大入試難化の原因と理由

2018年の私立大学入試が難しくなった大きな理由は、2016年から始まった『入学定員の厳格化』にあるようだ。一定の基準よりも多く学生を入学させると、大学が国から補助金がもらえなくなるという制度である。2017年の入試の際にも、一部大学すでに厳しくなっていたが、2018年から大学補助金が不交付になってしまい基準がさらに厳しくなったのだ。そのために、大学入試で合格者数を多く出せなくなってしまったのだ。2018年は、8000人以上学生がいる大規模大学（関関や産近など）は定員の1.1倍以上入学者がいると違反とみなされ補助金がその分カット、4000～8000人の学生がいる中規模大学は定員の1.2倍以上入学者がいると補助金カットとなっている。規模の大きな大学ほど、より厳格な基準になる。結果として2018年の入試では、最難関と言われる早慶（早稲田・慶應）、難関と言われるGMARCH（学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政）、関関同立（関西学院、関西、同志社、立命館）では合格者数をかなり絞り込むことになった。そして、これらの大規模な最難関大学、難関大学が合格者数を絞り込んだ影響が、中堅私立大学にも波及してしまい、全体的に倍率や難易度が急上昇した。また、この影響を危惧して、滑り止めのためか難関私立大学の志願者が例年よりも、多くの大学に併願するようになった。志願者数が増えれば合格倍率が上がるし、本来これまでなら上位大学を受験していたレベルの人がより下の大学の入試を受験するようになって競争率を上げてしまう。2019年にはさらに状況が厳しくなり、2020年にはセンター試験が廃止されたり大幅に入試制度が変わる。受験生にとっては、受難の年が続くことになるだろう。

### 3 推薦・AO入試について

#### (1) 推薦入試について

##### ① 指定校推薦制度（私立大学）

大学が高校を指定して、その高校から推薦された者を入学させる制度である。この制度は私立大学に限られ国公立大学にはない制度である。推薦する高校と、推薦を受ける大学との信頼関係で成立しているため、過去の入試状況などを見て高校が選定される。合格者の大学での成績や出席状況次第では次年度以降の高校の指定が打ち切りになるので、入学した場合後輩のためにも十分注意して欲しい。この制度での合格率は非常に高いが、推薦を希望するときは、「なぜ自分がその大学の学部・学科を志望するのか」といった志望動機と理由をしっかり持っている必要がある。

☆具体的な大学・学部については期日を定め掲示される。

##### ◆本校の求める条件

- ・学校長が推薦できる生徒であること。
- ・大学が規定する条件を満たすことは大前提であるが、成績が優秀であること、学校生活において他の模範となる生活態度であることが当然求められる。例えば服装・頭髪指導を一度でも受けた生徒は原則推薦しない。
- ・合格をした場合、必ず入学すること。

##### ② 公募推薦制度（私立大学）

出身学校長の推薦と、大学が規定する評定平均値をクリアしていることが一般的な出願資格となる。浪人生も出願できる大学も多い。また、一般入試や他大学との併願も認めているところもあるが、本校では学校長の承認を得なければならない。

##### ③ 公募推薦制度（国公立大学）

大きく分けて『センター試験を課す』パターンと『センター試験を免除する』パターンの2つがある。原則として他大学との併願は不可能で、入試としての難易度も高い。

##### ④ その他の推薦制度

###### ・特別活動優遇推薦

スポーツや生徒会活動などの高校時代のさまざまな活動やその分野での能力を評価するもの。

###### ・一芸一能推薦

絵画・音楽・書道などの芸術分野や外国語に堪能な人など、ある特定の能力に秀でた人を対象として行われる。

###### ・自己推薦

自己の推薦書により、自己の能力・適性・勉学の意欲などをPRし出願するもの。出身学校長の推薦は必要としないが、自己推薦書の提出が一般的で、この資料が重視される。

##### ⑤ 選抜方法

選抜方法は大学により様々であるが、「学科試験を課さないように」という文部科学省の通達により、書類審査・小論文・面接が主流となった。しかし、小論文には様々な形式があり、英語の読解や数学・理科の問題など、学科試験といえる内容のものもある。また、「適性検査」「基礎学力テスト」といった名称で実質学科試験を課す大学もあるので、過去問をベースにした対策が必要である。

## (2) AO入試について

「AO」とはアメリカの大学に設置されている入試担当部門「アドミッションズ・オフィス」の略称。日本語では「入試選考事務局」「入試事務室」などと呼ばれる。ここでは、自大学で学んで欲しい学生の人物像など、大学独自の学生募集、選抜から入学後の教育面での助言・指導を行っている。2004年の国立大学法人化以降、国公立大学での導入も増える傾向にある。また、後期日程の廃止に伴って、入学者の多様性を保つ入学方針として、AO入試を導入する国公立大学は、今後増えてくると考えられる。

### ① AO入試の特徴

自分の優れた点だけではなく、志望する大学・学部・学科の良さ、特性への理解を示すことが必要となる。そのうえで、いかに自分がその大学にふさわしく、期待に応えることができる存在であるかをアピールすることになる。

#### ア) 入試概要

- 高校の推薦を必ずしも必要としないため、一般的な条件を満たせば誰でも出願できる。
- 学力入試でははかりきれない多面的な能力や活動、人物を評価する。
- 面談・面接を中心に時間をかけ、より丁寧な選考が行われる。
- 国公立大学ではセンター試験が必須の場合もある。

#### イ) 出願書類

- 願書、調査書、活動報告書、志願者調書、志望理由書、小論文等

#### ウ) 出願要件

- 何を学ぶか、目的意識と意欲のある者
  - ・学業で極めて優秀な成績を修めている者
  - ・ボランティア（社会的奉仕活動）を行った者
  - ・高度な資格もしくは技術を持っている者
  - ・高校等で指導的役割を果たした者
  - ・語学能力、コンピュータに関する能力が優れた者 等

### ② AO入試のしくみ

全体的に国公立大学は、出願時期が8～10月、合格発表が10～12月の間に多い。  
(ただし、国公立大学の中にはセンター試験を課すAO入試が増えているので注意が必要)

私立大学は早いところでは5～7月にエントリー開始、夏休みに面接や体験授業、9～10月に合格発表となるケースがある。

選抜方法は、志望動機や学問に対する意欲、人物評価、学力試験では図ることのできない部分を評価するなど、各大学のアドミッション・ポリシーに応じた多面的な角度から行われることが特徴。出願の前にエントリーを行い、事前面談やセミナーを実施するなど、時間をかけて受験生を評価していく。

学力成績重視ではないからといってAO入試を安易に考えてはいけない。難関大学や人気のある系統の学部では志願者が集中し、かなりの高倍率となっている大学・学部もある。受験するその大学・学部で学びたいという明確な意志と意欲、関係する知識をもって挑んで欲しい。

### ③ その他

東北大学のAOⅢ期については、センター試験受験後の受験になる。よって、センター試験の結果が大きく合否を左右する要素となる。その年のセンター試験の平均点にもよるが、各学部の31年度入試の合否ボーダーラインはおおよそ以下の通り。

文学部	83. 6%	教育学部	79. 8%	法学部	85. 0%
経済学部	80. 0%	工学部	83. 2%~91. 0%		
医学部	89. 8%	看護学部	78. 0%	検査技術	77. 1%
放射線	78. 4%				
薬学部	85. 8%	農学部	78. 0%	歯学部	78. 0%

基準点が非常に高く、センター試験の結果を踏まえて出願するか否かを考える生徒もいると思われるが、センター試験受験後に志願理由書などの出願に必要な書類を仕上げるようになると、時間的な余裕がなく、相当忙しくなる。平行して前期試験の準備も行っていく必要があるため、東北大学のAO入試(Ⅲ期)を考えている生徒は、なるべく早く担任に相談し、冬休み前には志願理由書を完成させておくことが望ましい。

## 4 小論文について

### (1) 本校生の小論文意識について

「小論文（作文）は苦手。」

「小論文は自分には必要ない。（受験科目に小論文はない）」

こう思っている磐高生もいるだろう。

しかし、国公立大学では小論文入試が実施されている。また、推薦入試を実施している私立大学の7割以上が小論文で選抜を行っており、AO入試でもほとんどの大学で小論文が課されている。さらに、センター試験の国語の現代文や英語の長文読解で高得点を期すなら、小論文対策をしておくことで、論理の運びに慣れるだろうし、現代文と長文の理解に多いに役立つ。センター試験が終わり、出願。受験科目は「小論文」。そこで毎日必死になって「小論文」の特訓、という三年生が毎年いる。もちろんそれで間に合う人もいる。逆に、原稿用紙の使い方から始まって、どう書いてよいのか分からず添削指導中に行き詰まってしまう人も、時にはいる。

「小論文なんて関係ない」とは言っていない状況であることを認識し、必要になった時に慌てないように今から対策を立てておくべきである。

### (2) なぜ小論文が出題されるのか。

なぜ小論文なのか、大学側が求める大学生の質と関係がある。

大学入試業務担当の先生が小論文の出題について次のように述べている。

- ・知識を問う学科試験からは読みとれない、大学での研究に必要な能力として、文意を「理解する力」、問題点や課題を「分析する力」、己の見解や意見を「表現する力」を測ることができる。
- ・「論理的な思考」「自分の意見を表現する力」など、大学が必要とする多様な学生（人材）を確保しやすい。
- ・医療現場での、人と接するための人間性が測れる。また、意欲・適性が評価できる。

大学生には、うすっぺらな「知識」だけではない「意欲」「適性」が求められており、同時に「知識を活用し論理展開させ表現できる力」が必要なのである。

### (3) 小論文に必要な力

高い評価を得る小論文とは、以下のものである。

- ・課題文の主張を読み取り、理解できているもの。
  - ・読み手を納得させられる論理的な展開、自分の考えを支える具体例などを示しつつ、貫して自分の主張を述べているもの。
  - ・パターン化された小論文が多い中、自分自身の考え・独自性が現れているもの。
- その大学に入りたいという誠意、思いが伝わるもの。

では、具体的に必要とされる能力とは何か。

第一に、与えられた資料文や表・グラフ・英文等を理解し、分析する能力。ここで、大学の小論文は「作文」とは違うことを理解する必要がある。また、医学部をはじめとする多くの入試で、英文による「小論文」も数多く出題されている。表・グラフだけが5つ以上表示され、そこから出題者の意図を読み取るものもある。

第二に、理解し、分析したものに基づいて自分の意見を論理的に構成し、叙述する表現の力。

第三に、客観的立場に立ちながら自己を主張できる幅広く豊かな教養。

①理解・分析能力

②表現能力

③客観的立場で意見を展開できる幅広く豊かな教養

小論文に必要な力として以上の3点を頭に入れてほしい。

#### (4) 良い小論文を書くために

第3学年では、

- ・9月に全統論文模試（希望者）
- ・秋に、推薦、AO対策の個別添削指導
- ・冬に、2次・私大受験対策の個別添削指導

を実施する予定である。誰もが小論文で受験する可能性があるので、自分の力を客観的に測り、学校の小論文指導を活用し、準備をしていってほしい。

①理解・分析能力

当然、国語の読解力が重要である。近年は、特に、自分の主張を述べるだけではなく、現代文の読解問題がセットになって出題される場合が多い。また、英文資料読解のための ability や、地理歴史・公民・理科分野の表・グラフの読み取り能力を試す出題もある。生活科学系統の学部の小論文では保健や家庭基礎の授業で習ったことが出題され、福祉関係では保健の授業の知識が必要とされる。要はあらゆる教科科目の日々の学習が大切なのである。

資料・データの読み取りは、下記の③にも述べるように、自己を主張できる教養を下地にして読み解かねばならないので、高校生にふさわしい幅の広い知識や倫理観を育てておかねばならない。

②表現能力

学校で実施する「小論文模試」等を活用し、日頃からどの教科の先生でもかまわないので、添削してもらうことが一番の近道である。とはいって、実際にはなかなか「添削してもらうために家で小論文を書く」までいかないのが現実であろう。

表現を豊かにする一つの方法は、好きな文章をまねることである。新聞、評論などを読み、文の運びを自分のものにしていくことである。新聞や評論が、その意見を論理的・客観的に伝えるために、どのような工夫をしているのかを意識しながら読んでいこう。新聞の論説文などは限られた字数で書かれているために無駄が無く、読んでいてひきこまれることがあるだろう。こうした文章を読む習慣を付けることである。

③客観的立場で意見を展開できる幅広く豊かな教養

自己の直接体験を書くと説得力のある文になるだろう。例えば、医学部を志望するようになったきっかけとして、肉親の死を見取った経験や、自分自身の療養体験を書けば、書きやすく読み手に迫るものとなろう。しかし、多くの場合、君たちの過ごした十七、八年の人生体験だけはどうしても視野が限られてしまい、独断的・独善的な文章になりがちである。それでは、単に自分の感想文となり、採点者を納得させる文章、つまり意見なり、論評なりを書いた文章（小論文）にはならない。

まず、新聞を読むことである。最近の新聞は、意見が対立する問題や事件に関して、「賛成・反対の両視点からの論」が意識されて掲載されている。多様な視点を持つことで、小論文の課題文テーマを多角的な視点で説得力をもって論じることができるようになる。

次に「新書」を読む。自分の興味関心のある新書を読もう。また同じ分野を、異なる観点から書いている何冊かを読むと、自分の考えを構築するうえで参考になる。

## 5 面接について

### (1) 面接の形式と内容

#### ①個人面接

##### <傾向>

時間は10分程度、面接官の人数は3人前後が一般的である。面接前にアンケートなどの記入がある場合は、その内容を中心に進行するが、よく聞かれる一般的項目をまとめてみると次のようになる。

大学・学部・学科の志望理由

将来（卒業後）の希望進路、希望職業

入学後にやりたいこと

調査書や志望理由書の内容

高校時代の課外活動（部活動、生徒会、ボランティアなど）

趣味、特技、資格

性格、長所・短所

得意・不得意科目

併願校

学科試験の出来

時事問題

この中で最も重要なのは、最初の2つの項目である。受験する大学の特色、沿革などを踏まえた上で、なぜその大学に入学したいのか、将来どの方面で活躍したいのかを、自分なりに具体的にまとめておくことが必要である。志望学科関連の書物にも目を通し知識を蓄えるとともに、志望動機を明確にし、面接官を納得させられる志望動機を練っておかねばならない。

##### <対策>

面接時間は比較的短く、質問も一般的な内容を中心であるが、上記の項目について自分なりの、他の受験生とは異なる、面接官にアピールできる回答を準備しておかねばならない。時事問題については、「自分が興味を持っている問題」を問われるケースもあるが、特定のテーマについて知識や意見を問われる事も多いので、環境問題、少年犯罪、格差社会、インターネット、少子化といった一般的な用語やその問題点は常識として押さえておくべきである。特に医学部は、医療ミス、安楽死、臓器移植、ガン告知などの内容を巡って受験生個人の倫理意識をも含めて問われることが多い。

具体的には、日ごろから新聞に目を通し、自宅や図書館で記事を拾い、チェックをしておくことが必要である。知識を得ること、そして、自分なりの考え方をまとめておくことが大切である。記事をノートにスクランブルし、自分なりの意見を数行程度にまとめる作業を積み重ねていくことも効果的である。

また、理系学部の場合、面接で数学や理科の口頭試問が実施される場合もある。面接で基礎学力が問われるということである。自分の志望する大学の過去問題を調べて、その傾向と対策を練っておかねばならない。

#### ②グループ面接

##### <傾向>

(1)面接官と受験生のやりとりに終始する場合、(2)受験生の間で討論を行う場合（集団討論）、の2通りがある。前者(1)は、個人面接とほぼ同じと考えてよく、後者(2)は、テーマが面接官から提示され、討論を行うもので、時間は30分～60分が一般的である。

##### <対策>

集団討論の場合は5～6人の受験生の中で自分をアピールしなければならない。しかし、ただ意見を主張するだけでは不十分で、まわりの意見を聞きながら、適切なコメントを加え

るという「協調性+積極性」を見せなくてはならない。「他人の意見を尊重しながら、質問意図に即した意見を簡潔に述べる」ことを念頭に置いた発言を心がけ、日ごろから、ディベートを経験しておくことも重要である。

## (2) 近隣主要国公立大学面接例

### 東北大学 医(医)前期

個人面接・面接官 2人・時間 7分

- 志望理由
- 高校生活
- 今後、医学はどのように発展していくか
- 試験の出来

### 山形大学 工(物質化学工)前期

個人面接・面接官 3人・時間 30分

事前に記入(大学情報の入手方法・熱中したこと、苦手科目の対処法、将来の進路、最近の科学技術について)

- 記入内容について
- 志望理由
- 入学後やりたいこと
- 得意科目
- 最近読んだ本
- 20年後の自分
- 自己PR
- 休日の活用法(2ヶ月の休暇の場合)

### 福島県立医科大学 医(医)後期

個人面接・面接官4人・時間 20分

事前に記入(医学部入学はあなたにとってどういうことを意味するか、理想の医師像、高校生活で頑張ったこと)

- 志望理由
- 記入内容・調査書について
- 医師を目指す理由
- 先輩の医師がミスをしたとき、どう対処するか。
- 通学経路

<口頭試問>医療費と平均寿命に関するグラフから

- グラフからわかること
- 日本とアメリカの比較
- 発展途上国の位置

### 筑波大学 社会・国際学群(国際総合学類)後期

個人面接・面接官 3人・時間 10分

- 大学で学びたいこと
- 教育の場について(日本・海外・発展途上国)
- ユニセフで働くにはどうすればよいか(英語での質疑応答)
- 自己紹介
- 卒業後の進路
- ユニセフで働くには在学中何をすべきか

## 首都大学東京 システムデザイン（インダストリアルアート）前期

グループ 面接・面接官2人・時間20分

事前に記入（志望理由、好きな教科とその理由、趣味、特技、自分の性格[5段階評価]）

- 今までに行った芸術に関する活動（受賞歴など）
- 近年の芸術分野で気になること
- 高校生活で打ち込んだこと
- 選択したいコース
- 入学後学びたいこと

### （3）面接評価例

#### 1 [挨拶、コミュニケーション]

- ◆ 挨拶がきちんとできる・礼儀正しい
- ◆ 近づきやすい・付き合いやすい
- ◆ 話を聞くとき、答えるときに相手の目を見る。
- ◆ 相手との交流を図る意図を持っている。
- ◆ 相手の話を十分に聞き、相手の立場を理解できる。

#### 2 [態度、性格]

- ◆ 自己の性格を分析できる。
- ◆ 将来に夢を持っている・情熱を持っている。
- ◆ 明朗・快活である。
- ◆ 誠実・清廉である・成熟した雰囲気を持つ。
- ◆ 責任感がある。

#### 3 [論理性・思考力]

- ◆ 考えがまとまっていて明晰であり、自分の主張をきちんとできる。
- ◆ 質問に答える能力があり、返答が完全に近い。
- ◆ 考え方に柔軟性がある。
- ◆ 見識があり、物事を解析的に考える。
- ◆ 話していることに説得力がある。

#### 4 [〇〇への関心]

- ◆ 〇〇部に進む動機がはっきりしている。
- ◆ 〇〇という職業に対し、一定の考え方を持っている。
- ◆ 自己の個性と〇〇という職業を関連づけて考えている。
- ◆ 〇〇としての倫理をわきまえている。

#### 5 [社会に関する関心]

- ◆ 社会の動静に一定の関心がある。
- ◆ 大学を取り巻く状況を知っている。（関心がある。）
- ◆ 〇〇を取り巻く社会の状況について大体知っている。（関心がある。）

※〇〇には学部や職業の名前を入れて下さい。

※上記評価基準は、実際に某大学で使用されたものです。

## IV 資料編

# 1 2019年度大学入試センター試験平均点比較

教科	科目	満点		2019年度			2018年度		
				校内	全国	上回り	校内	全国	上回り
国語	国語	200	平均点	146.1	121.55	24.55	127	104.68	22.32
			受験人数	296			293		
数学	数学ⅠA	100	平均点	61.4	59.68	1.72	66.2	61.91	4.29
			受験人数	272			259		
数学	数学ⅡB	100	平均点	54.5	53.21	1.29	55.2	51.07	4.13
			受験人数	260			251		
外国語	外国語計	200	平均点	139.4	123.8	15.6	137	119.5	17.5
			受験人数	309			314		
外國語	英語・筆記	200	平均点	140.1	123.3	16.8	148.4	123.75	24.65
			受験人数	309			308		
外國語	英語・リス	50	平均点	34.3	31.42	2.88	26.5	22.67	3.83
			受験人数	308			308		
地歴・公民	世界史B	100	平均点	63.5	65.36	-1.86	83.1	67.97	15.13
			受験人数	109			52		
地歴・公民	日本史B	100	平均点	70.9	63.54	7.36	70.6	62.19	8.41
			受験人数	107			108		
地歴・公民	地理B	100	平均点	67	62.03	4.97	75.1	67.99	7.11
			受験人数	73			140		
地歴・公民	倫理	100	平均点	71.2	62.25	8.95	70.3	67.78	2.52
			受験人数	11			6		
地歴・公民	政治経済	100	平均点	61.0	56.24	4.76	70.3	56.39	13.91
			受験人数	23			9		
地歴・公民	現代社会	100	平均点	63.9	56.72	7.18	59.5	58.22	1.28
			受験人数	13			2		
地歴・公民	倫理・政経	100	平均点	65.2	64.22	0.98	73.4	73.08	0.32
			受験人数	60			67		
理科	物理基礎	50	平均点	23.0	30.58	-7.58	41.0	31.32	9.68
			受験人数	3			5		
理科	物理	100	平均点	65.6	56.94	8.66	74.5	62.42	12.08
			受験人数	102			105		
理科	化学基礎	50	平均点	35.7	31.22	4.48	35.9	30.42	5.48
			受験人数	59			40		
理科	化学	100	平均点	56.6	54.67	1.93	64.2	60.57	3.63
			受験人数	150			157		
理科	生物基礎	50	平均点	36.2	30.99	5.21	40.5	35.62	4.88
			受験人数	103			96		
理科	生物	100	平均点	67.7	62.89	4.81	72.7	61.36	11.34
			受験人数	60			56		
理科	地学基礎	50	平均点	34.3	29.62	4.68	40.7	34.13	6.57
			受験人数	63			67		
理科	地学	100	平均点	67	46.34	20.66	86.0	48.58	37.42
			受験人数	1			2		





### 3 評定平均値とは何か

各学年の終わりに1年間の成績状況を見て各教科毎に5から1の5段階で評定が決められる。3年間学んだすべての科目の評定は「調査書」という書類にまとめられ、受験する大学に送付される。大学ではこの「調査書」を見て受験生の高校生活がどのようにであったのかを判断する。

近年、推薦入試制度をとる大学が増加している。その際重要な意味を持つのが、調査書に記される以下の「各教科の評定平均値」と「全体の評定平均値」と「学習成績概評」である。

「各教科の評定平均値」と「全体の評定平均値」の算出方法、及び「学習成績概評の基準」を示す。

#### ① 各教科の評定平均値

「各教科の評定平均値」とは、各教科毎に各科目の評定の合計を各教科の評定の数で割った数値のことである。(小数点以下第2位を四捨五入)

[計算例] 下記の者の国語の評定平均値は、次の通りである。

$$\begin{aligned} \text{国語の評定平均値} &= \frac{\text{評定の合計数}}{\text{評定の数}} \\ &= \frac{5+4+3+4+3}{5} = \frac{19}{5} = 3.8 \end{aligned}$$

#### ② 全体の評定平均値

「各教科の評定平均値」とは、すべての教科・科目の評定の合計をすべての評定の数で割った数値のことである。(小数点以下第2位を四捨五入)

[計算例] 下記の者の全体の評定平均値は、次の通りである。

全体の評定平均値

$$\begin{aligned} &= \frac{\text{履修科目の評定の全合計数}}{\text{履修科目の評定の数}} \\ &= \frac{(\text{国語 } 5 + 4 + 3 + 4 + 3) + (\text{地歴 } 4 + 5 + 4 + 4) + \dots + (\text{家庭 } 5) + (\text{情報 } 3)}{(\text{国語 } 5) + (\text{地歴 } 4) + \dots + (\text{家庭 } 1) + (\text{情報 } 1)} \\ &= \frac{161}{38} = 4.2 \end{aligned}$$

#### ③ 学習成績概評

「学習成績概評」は、次のような区分に従って記載される。

##### 【学習成績概評】

全体の評定平均値	成績概評
5.0 ~ 4.3	A
4.2 ~ 3.5	B
3.4 ~ 2.7	C
2.6 ~ 1.9	D
1.8 以下	E

##### 【調査書の例】

教科・科目	評定			修得単位数
	第1学年	第2学年	第3学年	
国語	国語総合	5		5
	現代文B		4	4
	古典A			
	古典B		3	6
地歴	世界史A	4		2
	世界史B			
	日本史A			
	日本史B		4	7
	地理A			
	地理B			
家庭	家庭基礎	5		2
情報	社会と情報		3	2

## 4 奨学金について — 独立行政法人 日本学生支援機構（旧 日本育英会）の場合

日本学生支援機構では、国内の大学・短期大学・専修学校専門課程進学後の奨学金を希望する人を対象に奨学金予約の募集をしています。

\*大学・短期大学の通信教育部・別科、大学の付属施設、放送大学、自治医科大学（医学部）、各種学校等は対象外です。防衛大学校は対象外ですが、本機構の奨学金を取扱う大学校もありますので、当該校に直接照会してください。

\*専修学校については本機構の奨学金を取扱わない場合もありますので、取扱いの有無については当該校に直接照会してください。なお、1年課程の学科は例外なく対象外です。

### 【募集時期】

3学年の春に募集しますが、募集期間は奨学金の種類により異なります。（詳細は学校で確認）

\*候補者として内定するのは、第一種；7月末、第二種；10月末を予定しています。

### 【申込資格】

高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部および専修学校の高等課程（以下「高等学校等」）から大学・短期大学または専修学校専門課程（以下「大学等」）へ進学する希望を持っている者で、下記に該当し、優れた資質を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる者。

- (1) 令和2年3月末に高等学校等を卒業予定の者
- (2) 高等学校等を卒業後2年以内の者。（2浪生まで。大学へ入学したことのある者を除く。）
- (3) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者、又は合格見込みの者。

\*外国籍の人は、在学する高等学校等に相談して下さい。

### 【奨学金の種類】

#### (1) 納付型奨学金（返さなくてよいもの）

経済的理由により進学が極めて困難な生徒に対して、平成29年度から創設されます。

平成29年度は私立・自宅外の人と社会的養護を必要とする人に限り対象とします。

#### (2) 貸与型奨学金（返さなければならぬもの）

自分で借りて卒業後に自分で返していく奨学金です。

①第一種奨学金（無利子の奨学金）

②第二種奨学金（有利子の奨学金）

#### (3) 入学時特別増額貸与奨学金

所得が少ないために国民生活金融公庫の教育ローンを利用できなかった人を救済するために創設された制度です。候補者となった場合は大学等に進学するまでに、実際に国民生活金融公庫の教育ローンを申し込み、所得が少ないと融資が受けられないことを確認して進学後に申告する必要があります。（日本学生支援機構の定める要件に合致する場合は申告を免除されます。）

### 【給付・貸与される月額】

#### (1) 納付型奨学金

（平成31年度予定）

区分	大学	
	国・公立	私立
自宅月額	20,000円	30,000円
自宅外月額	30,000円	40,000円

## (2) ① 第一種奨学金

令和2年4月分から卒業する（標準修業年限の終期）まで、つぎの金額または30,000円（30,000円を選択した場合）が奨学生本人の口座に原則として毎月振り込まれます。

（平成31年度予定）

区分	大学		短期大学・専修学校	
	国・公立	私立	国・公立	私立
自宅月額	45,000円	54,000円	45,000円	53,000円
自宅外月額	51,000円	64,000円	51,000円	60,000円

## (2) ②第二種奨学金

3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の中から必要な額を申込時に選択します。貸与途中で月額を変更することができます。

私立大学の医学・歯学・薬学または獣医学を履修する課程に在籍する者は、最高月額（12万円）を選択した者に限り、医学・歯学課程においては4万円、薬学・獣医学課程においては2万円の増額貸与を受けられます。（増額の手続きは進学後に行います。）

## (3) 入学時特別増額貸与奨学金

希望により、10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から必要な額を申込時に選択します。第一種奨学金または第二種奨学金の初回振込時に併せて貸与されます。

\*振込日の関係上、入学前に必要な入学金等に直接充てることはできません。

## 【保証制度】

保証制度について、申込時に次のいずれかを選択します。

### (1) 機関保証

保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証をします。連帯保証人は不要です。

※保証期間の保証を受けても、奨学金は本人が返還しなければなりません。

### (2) 人的保証

原則として父または母を連帯保証人として選任します。（父母がいない等の場合には、兄・姉・おじ・おば等の4親等以内の成人親族。）

\* 貸与終了時には、連帯保証人に加えて保証人（原則としては連帯保証人と別生計の4親等以内・65歳未満の成人親族。おじ・おば等）を選任する必要があります。

（注）進学後の保証人制度の変更は認められない場合があります。十分考慮して選択してください。

## 【利率の算定方法】

第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、金利の種類について、申込時に次のいずれかを選択します。（奨学金の交付期間中に変更することもできます。）

### (1) 利率固定方式（固定金利）

貸与終了時に決定する利率で最後まで返還することになります。

### (2) 利率見直し方式（変動金利）

貸与終了後5年毎（予定）に見直される利率で返還することになります。

## 【申込基準】

### 1 学力基準

(1) 納付型奨学金 一定の学力要件を満たすこと。

#### (2) ① 第一種奨学金

高等学校等での申込時までの全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること。

※住民税非課税の世帯の生徒については、この学力基準に満たなくても勉学意欲があれば申込みできます。

(2) ② 第二種奨学金

次のいずれかに該当する人。

(ア) 高等学校等での申込時までの全履修科目の学習成績が、該当学校におけるその者の属する学年の平均水準以上であること。

(イ) 特定の分野において、特に優れた資質能力を有すると認められること。

(ウ) 大学等における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があると認められること。

※ 高卒認定試験の合格者、機構が定める基準に該当する科目合格者又は出願者は、上記に準ずると認められます。

2 家計基準

家計支持者の前年の年収・所得金額から、規定で定められている特別控除額を差し引いた金額が、機構で定めている基準額以下であること。

<収入・所得の上限額の目安>

(単位：万円)

区分	給与所得の世帯			給与所得以外の世帯		
	第一種	第二種	併用	第一種	第二種	併用
3人世帯	657以下	1,009以下	599以下	286以下	601以下	245以下
4人世帯	747以下	1,100以下	686以下	349以下	692以下	306以下

\*併用とは、第一種奨学金と第二種奨学金の貸与を両方同時に受けることです。

\*給与所得は収入金額（税込）、給与所得以外は収入金額から必要経費を差し引いた金額です。

\*家庭の状況により特別控除に該当する場合があります。

【返還方法等】

- (1) 第一種奨学金の返還方法は「定額返還方式」か「所得連動返還方式」のいずれかを選びます。
- (2) 第二種奨学金については、利率固定方式（貸与終了時に利率を返還完了まで適用）、利率見直し方式（返還期間中おおむね5年毎に見直しされる利率を適用）のうちから利率の算定方法を選択します。
- (3) 卒業後、進学したとき、災害・病気等により返還が困難になったときは、願い出により一定期間返還が猶予されます。また、死亡または心身障害により返還ができなくなったときは、願い出により全額または一部の返還が免除されます。

<定額返還方式の返還例> (4年生大学・月賦の例)

※最長20年

(単位：円)

区分（貸与月数）	通学	貸与月額	貸与総額	返還総額	月賦額	返還回数（年）
大学・国公立（48か月）	自宅	45,000	2,160,000	2,160,000	12,857	168(14)
大学・国公立（48か月）	自宅外	51,000	2,448,000	2,448,000	13,600	180(15)
大学・私立（48か月）	自宅	54,000	2,592,000	2,592,000	14,400	180(15)
大学・私立（48か月）	自宅外	64,000	3,072,000	3,072,000	14,222	216(18)

<所得連動返還方式の変換例> ※年収に応じて返す月額が決定

例 年収200万円 → 月額：約4,700円

年収300万円 → 月額：約8,900円

<第二種奨学金の返還例>

(単位：円)

貸与月額	貸与総額	返還総額	月賦額	返還総額	月賦額	返還回数 (年)
		固定金利（年0.16%）の場合	年利率3.0%（上限金利）の場合	年利率3.0%（上限金利）の場合	年利率3.0%（上限金利）の場合	
50,000	2,400,000	2,430,870	13,504	3,018,568	16,769	180(15)
80,000	3,840,000	3,904,917	16,270	5,167,586	21,531	240(20)

※詳細は日本学生支援機構のホームページ (<http://www.jasso.go.jp/>) を確認してください。

## 5 進路情報室・進路資料室の利用について

### (1) はじめに

高校での進路の選択の範囲は、中学の進路選択と違ってかなり広範囲である。進学する大学は全国各地に広がり、学部・学科も多種多様だ。そのような中で、進路資料室は進路情報の宝庫であり、進路を考えるうえで大変に重要な役目を果たしている場所だ。

進路資料室の内容や役割をよく理解し進路の選択決定に際して、有効に活用して欲しい。進路資料室は3年生だけが利用するところではない。1・2年生のうちから積極的に利用し、自分にとって必要な進路情報を収集することが大切だ。

また、進路についての悩みなども、恥ずかしがらずに進路資料室の先生に相談してみよう。親身になって、相談に応じてくれるはずだ。

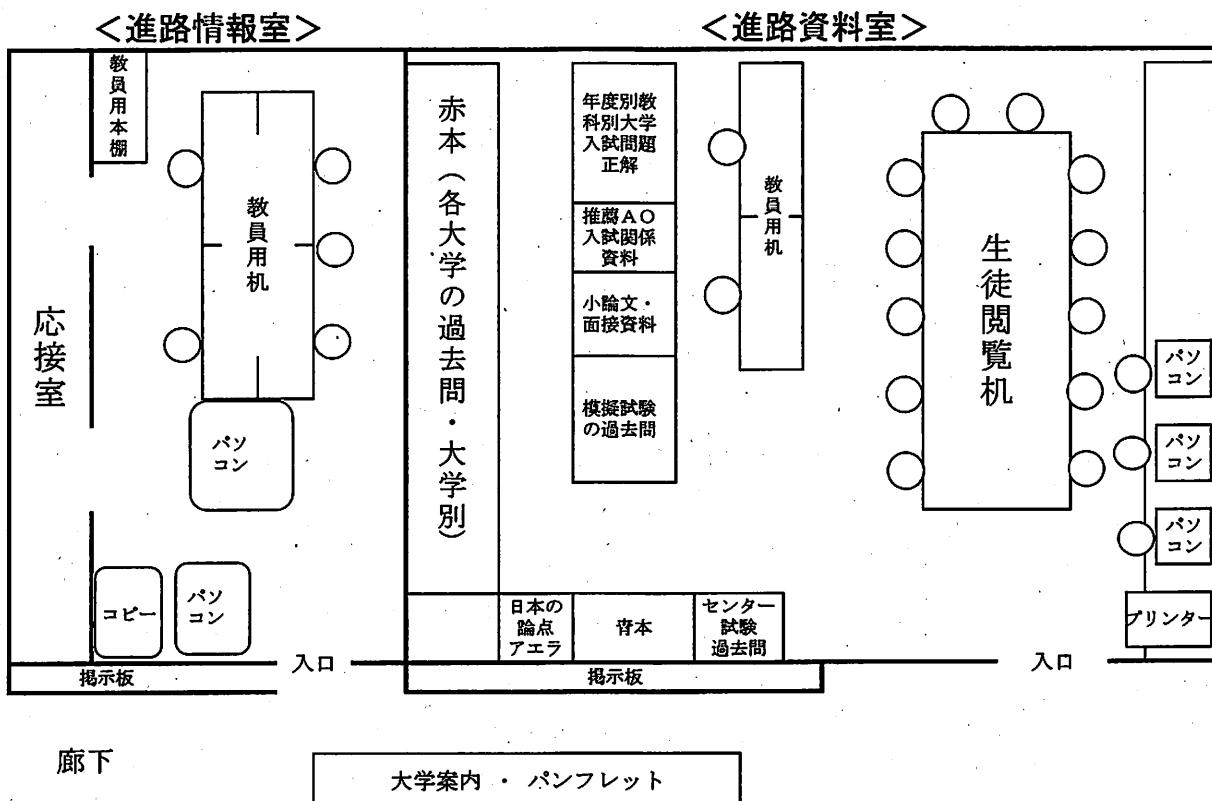
### (2) 進路資料室の利用

- ①進路相談（進路情報室の先生にも相談して欲しい）
- ②各大学の入試問題の他、センター試験過去問の貸出
- ③インターネット利用による大学の検索
- ④模擬成績（進研）の確認（3年のみ）

※ 進路資料室を利用する際には、この部屋の先生に申し出て使用する。

※ 進路情報室・進路資料室の前の廊下には、自由に持ち帰ることができる資料が常時並んでいるので、積極的な利用を勧めたい。

### (3) 進路情報室・進路資料室の配置について

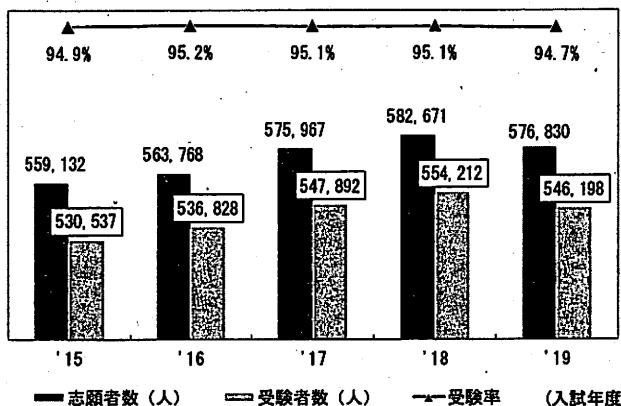


## 1. 2019年度大学入試センター試験の概況

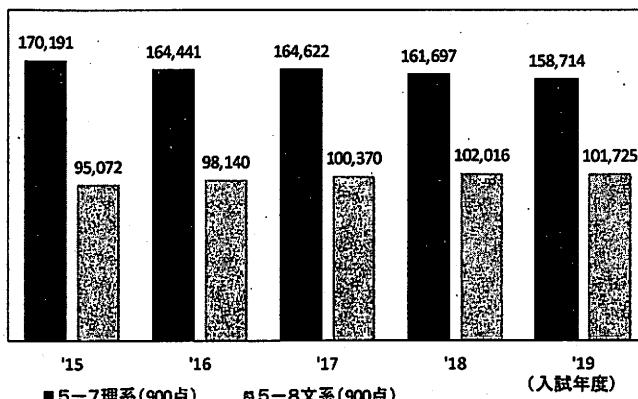
### センター試験の志願者数と受験者数はともに減少

2019年度の大学入試センター試験の志願者数は、576,830人となり、前年と比べて5,841人減少した。受験率は94.7%、受験者数は546,198人(対前年指数99)となり、志願者数と受験者数ともに前年度から減少した。現役生の志願者数は対前年指数98と減少しているが、既卒生・他の志願者数は対前年指数103と増加しており、志願者に占める現役生の割合は過去5年で最も小さくなっている。この背景には、近年の私立大の入学定員の厳格化の影響があると考えられ、合格者の絞り込みが既卒生の増加につながっているとみられる。また、データネット集計結果においては、教科型でみると、5-8文系の受験者数が対前年指数100と前年並、一方、5-7理系は対前年指数98と減少している。

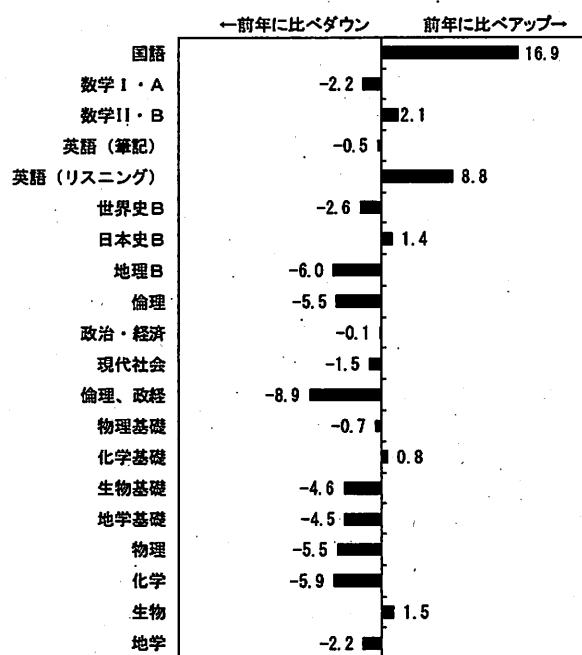
センター試験志願者数と受験者数



データネット集計件数(受験教科型別集計件数)

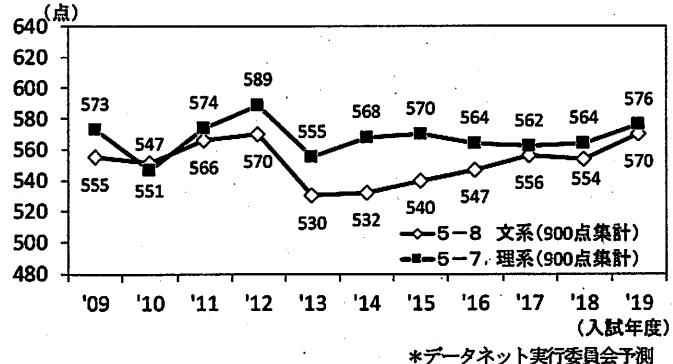


センター試験科目別平均点の前年差



\*大学入試センター発表資料より作成

5教科受験者の予想平均点



\*データネット実行委員会予測

### 文系・理系ともに平均点は上昇

データネット実行委員会が推定した5教科7科目900点集計の予想平均点は、文系が570点(得点率約63%)、理系が576点(得点率64%)となり、前年と比較して、文系は+16点、理系は+12点となった。

また、科目別の平均点では、国語、英語(リスニング)などで平均点アップがめざつ一方、倫理・政経、生物基礎などで平均点がダウンした。

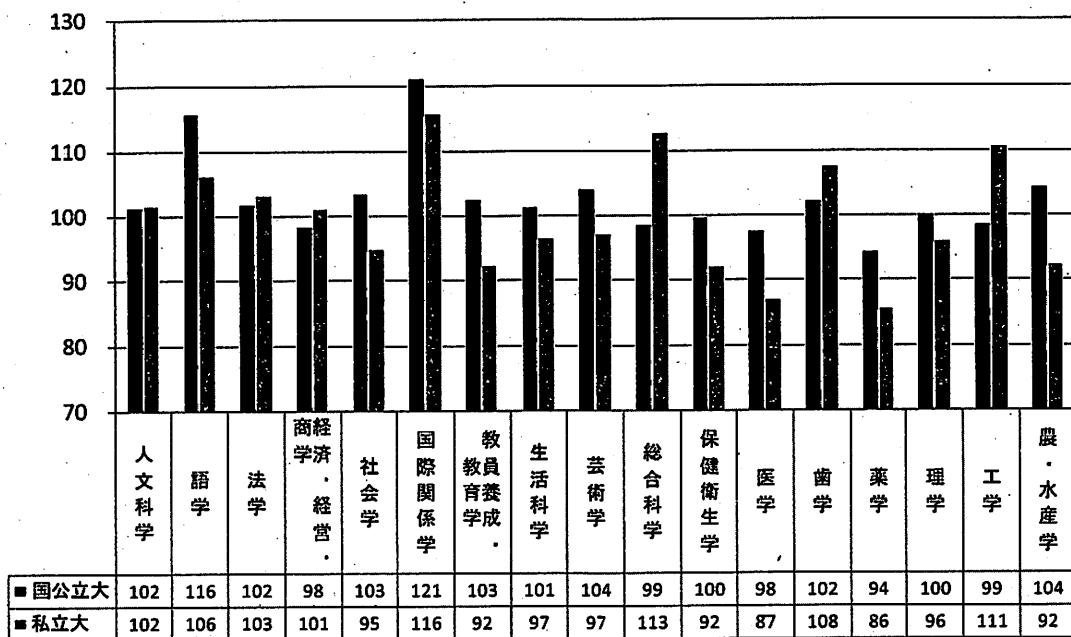
## 2. 2019年度入試 学部系統別志願概況

弊社が収集した国公立大、首都圏・近畿圏の私立大の志願者数によると、国公私立を問わず、文系の多くの学部で志願者数が増加し、医学系統や薬学系統で志願者数の減少がめだっている。また、模試動向と同様に情報関係の系統の人気が高まっており、理学系統の中の情報科学系統、工学系統の中の情報工学系統などは国公私立を問わず志願者数の増加がみられている。

【国公立大】文系では多くの学部系統で志願者数の対前年指数が100を上回っているが、経済・経営・商学系統では志願者数の対前年指数98と高止まりの傾向がみられる。一方、理系では資格志向が弱まる傾向が続き、医学系統や薬学系統で志願者数の減少がめだっている。

【私立大】文系では多くの系統で志願者数の対前年指数が100を上回っているが、社会学系統では志願者数の対前年指数95と減少がみられる。理系では、医学系統や薬学系統、保健衛生学系統などで志願者数の減少がめだっている。

学部系統別にみた志願者数の変化



\*数値は、2018年度の志願者数を100としたときの指数

\*国公立大の数値は、2月中旬弊社収集分より作成、私立大の数値は、首都圏・近畿圏の大学の2月中旬弊社収集分より作成

## 3. 国公立大の志願概況

### 国公立大の志願者数は前年並

2019年度入試における国公立大全体の志願者数は469,836人(対前年指数101)と前年並となった。設置区分別にみると、国立大全体の志願者数は対前年指数100、公立大全体の志願者数は対前年指数103となっており、比較的落ち着いた志願状況といえる。なお、公立大は2018年度に公立化した諒訪東京理科大、新設された公立小松大が加わっている。また、前期日程分における2段階選抜の実施大学・学部数は、28大学48学部で、第1段階選抜不合格者数は、3,660人と増加した。

センター試験の平均点の上昇により、文系の学部においてやや強気の志望がみられる。また、教科・科目数の少ない国公立大の文系学部でも志願者数が増加している学部がめだっている。例えば、首都大東京・法<前>で対前年指数137、信州大・人文<前>で対前年指数129など、志願者数の増加が顕著である。

### 国公立大の志願者

	2019年度	2018年度	対前年指数
	前期	後期	
国立大	194,525	195,255	100
	135,628	134,950	101
	330,153	330,205	100
公立大	64,010	62,607	102
	31,687	29,804	107
	43,986	43,292	102
	139,683	135,503	103
国公立大	258,535	257,862	100
	31,887	29,804	107
	179,614	178,242	101
	469,836	465,708	101

\*文部科学省発表資料より作成

\*独自日程を除く

### 2段階選抜実施状況

	2019年度	2018年度
国立	20大学 37学部	17大学 33学部
公立	8大学 11学部	4大学 7学部
国公立計	28大学 48学部	21大学 40学部
前期不合格者	3660人	3070人

\*文部科学省発表資料より作成

\*前胡日程分

## 4. 難関国立10大学の志願概況

### 難関国立10大学志願者数の変化

	北海道大		東北大		東京大		名古屋大		京都大		大阪大		神戸大		九州大		
	前	後	前	後	名称	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
文	144	104	85	09席	文三	97	16席	92	08席	104	07席	88	17席	97	113	101	119
外国語												94	17席				
法	119	122	86	08席	文一	106	16席	109	07席	94	138	128	17席	100	107	71	91
経済	97	140	84	85	文二	99	16席	88	07席	97	07席	108	17席	132	13席	100	97
経営														78	12席		
人間科学												98	17席				
教育	137	116	117	08席				190	07席	104	07席					134	09席
総合人間										90	07席						
国際人間														106	89		
総合文系	70																
理	11席	94	104	115				96	08席	109	07席	115	13席	111	84	111	100
工	11席	113	91	07席	理一	97	16席	103	07席	90	07席	79	12席	111	97	100	100
基礎工												105	13席				
芸術工																96	08席
海事科学														115	73		
医(医)	90	11席	88	07席	理三	90	08席	88	126	89	07席	96	17席	96	08席	109	14席
医(医以外)	89	113	92	08席				100	09席	100	09席	91	17席	114	85	80	12席
歯	91	160	102	07席								67	17席			185	18席
薬	11席	101	85	08席						82	07席	111	17席			82	108
農	11席	111	98	07席	理二	96	16席	89	08席	101	07席			101	82	109	45
水産	107	118															
獣医	109	126															
情報										95							
総合理系	99																
共別																103	
日程計	100	112	92	103				98	-	100	126	96	138	96	-	105	93
大学計	105		94					98		100		97		96		100	98

\*表中の数値は、前年度の募集単位の志願者数を100としたときの指数。  
 ただし、「大学計」は、2019年度入試における新設や廃止などの募集単位の有無にかかわらず、年度ごとの全志願者数をもとに算出した指数。  
 \*東京工業大では2019年度より從来の1~7類に代わって、6つの学院に募集単位が変更となるため、從来の「7類」と新たに「生命理工学院」を除いて、前年度との比較が不可能となる。ここでは、「一括」として從来の「1~6類」と新たな「理、工、物質理工、情報理工、環境・社会理工」の各学院における志願者数の合計との対比で指数を算出している。  
 \*大阪大・薬学部は、兩年度とも学部計での対比で指数を算出している。

東京工業大		一橋大			
名称	前	後	名称	前	後
一括	100	-	法	98	18席
理	19新	二	経済	92	94
工	19新	一	商	102	09席
物質理工	19新	-	社会	78	18席
情報理工	19新	-	日程計	92	94
生命理工	102	106	大学計	92	
環境・社会理工	19新	-			
日程計	100	106			
大学計	100				

難関国立10大学総志願者数.....72,476人  
 難関国立10大学志願者数の対前年指數...98

### 難関国立大の前期日程の志願者数はやや減少

難関国立10大学(北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大)全体の志願者数は72,476人(対前年指數98)とやや減少した。日程別にみると、前期日程の志願者数が58,003人で対前年指數98、後期日程が14,473人で対前年指數101となっている。

大学別にみると、北海道大は、大学全体の志願者数が対前年指數105とやや増加しており、入試方式を一新した東京工業大を除くと、難関国立10大学で唯一の増加となっている。特に前期日程では文、教育など、後期日程では法、経済、獣医などで増加が顕著であり、前年度入試で志願者数が減少した学部の反動増が強くみられている。

一方で、大学全体の志願者数の減少がめだつのは東北大(対前年指數94)と一橋大(対前年指數92)である。東北大は、AO入試の拡大と一般入試の募集人員の縮小が続いている、2019年度入試でも文学部、法学部、理学部でAO入試の方式を増やし、それにともなって前期日程の募集人員が減少した。募集人員の対前年指數は文<前>で89、法<前>で86、理<前>で90となり、志願者数は特に文<前>と法<前>で減少がめだっている。一橋大では、特に社会<前>で志願者数の対前年指數78と減少がめだっている。志望変更先として挙げられる筑波大・社会国際<前>が対前年指數126と増加しており、センター試験の配点比が高い大学への志望変更が影響した可能性も考えられる。

東京工業大では、類別入試から学院別入試に変更し、全募集人員の約9割を占める前期日程が「全学一括」での募集になった。志望学院を第3志望まで記入して出願することができるが、情報理工学院の志願倍率は9.8倍と最も高くなかった。

大阪大では、個別試験重視の配点Bを廃止した工学部の志願者数が対前年指數79と減少している。配点Bは理科、数学の得意な受験生が個別学力検査で挽回をかける一つの方法であった。また、薬科学科(4年制)を廃止し、薬学科(6年制)のみになる薬学部では、志願者数は対前年指數111と増加している。

九州大では、医(医)<前>の志願者数が対前年指數109と増加している。センター試験の生物が必須から選択に変わり、

センター試験と個別試験の両方を物理、化学のみで受験することが可能となったことが影響していると考えられる。難関国立10大学の医学系統において志願者数が増加しているのは九州大のみであり、全国的な医学系統の不人気は難関大でも同様にみられている。

## 5. 早慶上智・MARCH・関関同立の志願概況

早慶上智・MARCH・関関同立の志願者数

	一般			センター			合計		
	2019年度	2018年度	対前年	2019年度	2018年度	対前年	2019年度	2018年度	対前年
早稲田大	92,787	100,755	92	18,551	16,454	113	111,338	117,209	95
慶應大	41,875	43,301	97	-	-	-	41,875	43,301	97
上智大	27,916	31,181	90	-	-	-	27,916	31,181	90
明治大	80,033	85,038	94	31,271	34,747	90	111,304	119,785	93
青山学院大	46,287	49,735	93	14,117	13,050	108	60,404	62,785	96
立教大	42,077	44,131	95	26,719	27,662	97	68,796	71,793	96
中央大	49,378	47,593	104	42,087	39,820	106	91,465	87,413	105
法政大	75,199	81,758	92	40,248	40,741	99	115,447	122,499	94
関西大	63,364	64,038	99	23,391	20,527	114	86,755	84,565	103
関西学院大	25,491	28,278	90	12,056	12,796	94	37,547	41,074	91
同志社大	42,571	48,366	88	11,144	10,126	110	53,715	58,492	92
立命館大	53,027	53,595	99	34,979	36,947	95	88,006	90,542	97
12私立大計	640,005	677,769	94	254,563	252,870	101	894,568	930,639	96

\*数値は、2018年度の志願者数を100としたときの指数 \*2月中旬弊社収集分より作成

### 12 私立大の志願者数は減少

「早慶上智」・「MARCH」・「関関同立」の12私立大全体の志願者数は894,568人(対前年指数96)と減少した。入試方式別の志願者数をみると、一般方式は対前年指数94と減少し、センター方式は対前年指数101と前年並となっており、特に一般方式での減少がめだつ。

「早慶上智」全体での志願者数は、対前年指数94と減少した。早稲田大では、一般方式の志願者数が対前年指数92と減少したのに対して、センター方式の志願者数が対前年指数113と増加している。2019年度入試は、教育学部に指定校推薦が新規で導入される。教育学部の志願者数は対前年指数84となっているが、募集人員も700人から140人減の560人(対前年指数80)となるため、志願倍率は大きく変動していない。慶應大では、模試動向と同様に環境情報学部の志願者数が対前年指数107とやや増加しており、全国的な情報関係の学部系統人気を反映している。

「MARCH」全体での志願者数は、対前年指数96と減少した。明治大以外は一般方式よりもセンター方式の方が志願者数の対前年指数が大きくなっている。中央大では、2019年度より「国際情報学部」と「国際経営学部」を新設することもあり、MARCHで唯一、全体の志願者数が増加している。新設学部の志願倍率は、国際経営学部の一般方式で28.8倍、国際情報学部の一般方式で44.2倍となっており、中央大の他の学部と比べてもかなり高くなっている。青山学院大もコミュニティ人間科学部を新設するが、こちらは青山学院大の他の学部と同程度の志願倍率となっている。

「関関同立」全体での志願者数は、対前年指数97とやや減少した。関西大と同志社大では、センター方式の志願者数がそれぞれ対前年指数114、110と増加した。関西大では大学全体の志願者数でも対前年指数103とやや増加しており関関同立で唯一の増加となった。志願者数の増加がめだつのは総合情報学部で、一般方式で対前年指数129、センター方式で対前年指数149といずれも大きく増加している。関西学院大は大学全体の志願者数が対前年指数91と、関関同立で最も志願者数が減少した。これは2018年度入試において、12私立大の中で最も合格者の絞り込みが顕著にみられたのが関西学院大であったことが影響していると考えられる。

12私立大の志願者数は総じて減少したが、産近甲龍や、日本大を除く東駒専の志願者数はどちらも対前年指数106と増加している。入学定員の厳格化による合格者の絞り込みの影響を危惧した、安全志向の表れといえよう。